

政策シート

(政策名) 緑化推進・緑地保全

(予算費目名) 緑化推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	368,821	311,149
決算	357,241	
人件費(A)	126,200	122,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	483,441	433,149

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
フラワーパーク入園者数	人	540,000	目標	360,000	
			実績	484,356	
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	20,000	目標	11,000	
			実績	11,575	
保全が担保される緑地の面積	ha	240	目標	8	
			実績	8	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 進んでいる

- ・ 館山寺総合公園運営事業については、エレベーターの新設や「虹のフジのトンネル」の整備の開始もあり、H27の目標を大きく上回ることができた。更なる入園者を確保するため、魅力ある施設整備やイベントの開催を進める必要がある。
- ・ 花づくりに関連するボランティアの参加人数も各種支援を行ったことにより、順調に増加しており、市民協働による「花と緑のまち」が推進されている。
- ・ 緑地保全については、「地域制緑地の見直し計画」の策定等により目標値を達成した。緑地保全を市民協働で進めるためには市民、事業者、活動団体の育成や組織化など活動支援が必要となる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	緑化推進センター運営事業					36,125	34,025	0.3				
2	館山寺総合公園運営事業	○	○	○		150,365	144,065	0.9				
3	緑化推進事業					15,930	6,430	1.1	0.5			
4	花と緑のまち・浜松推進事業			○		99,872	73,972	3.7				
5	緑地保全事業			○		59,274	28,674	3.6	1.5			
6	市街化区域内農地緑化保全事業					12,700	7,100	0.8				
7	都市計画公園見直し事業					15,030	9,430	0.8				
8	花と緑の基金積立金					2,400	1,000	0.2				
9	緑化推進運営経費					41,453	6,453	4.6			1.0	
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						433,149	311,149	16.0	2.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 緑化推進センター運営事業

◇事業目的・事業対象

緑に対する知識を高める緑化活動拠点として、市民に対し、生垣のつくり方や剪定のしかたなど専門的な緑化指導を行い、緑の普及啓発活動を行う。

◇事業の概要

- ・見本園等を利用した専門的な講習会や講座を開催する。
- ・緑の相談窓口において、樹木や花苗の育成管理など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」などのイベントや環境学習を通して緑の大切さを広める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	—	一般会計	自治事務		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	30,709	34,025
	決算	30,707	
	国・県支出		
	市債		
	その他	12	12
	一般財源	30,695	34,013
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		5,600	2,100
人工	正規	0.8	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
講座・講習会への参加人数(人)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	4,500		4,700		5,000
実績値	3,768				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
※ イベント、即売会を除く					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・見本園等を利用した専門的な講習会や講座を開催する。
- ・緑の相談窓口において、樹木や花苗の育成管理など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」などのイベントや環境学習を通して緑の大切さを広める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・都市緑化植物園として緑の相談窓口の機能を充実し、展示即売会やイベントの開催などにより、入場者数は増加した。しかし、講座や講習会の参加者数は、目標値に達しなかった。
- ・施設の老朽化が進行していることから、施設改修計画の作成を進めた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・花と緑のまち・浜松を推進する拠点施設として、ホームページなど様々な媒体による情報発信をしたことで、イベント等の入場者数が増加した。一方、講座や講習会の参加者数は目標値に達しなかったため、今後もアンケート等により市民ニーズを的確に把握し、人気講座の拡大や新規講座の立ち上げを積極的に行うことで、参加者数の増加を見込む。
- ・施設の老朽化については、施設利用者等の要望を踏まえ、長期展望のもと対応策を検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成29年度から5年間を新たな指定管理期間に設定する。
- ・新たな指定管理期間については、豊岡苗圃の機能(育苗・樹木交付)を緑化推進センターに集約し、緑化推進の拠点機能を統合により強化する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.96】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理する。
- ・浜名湖花フェスタ2016などのイベントを通して、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して施設を利用できるよう、老朽化した施設の改修を随時実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	217,102	144,065
	決算	215,739	
	国・県支出	29,000	
	市債	28,900	
	その他	139	28,139
	一般財源 一般会計繰入金	157,700	115,926
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	6,300
人工	正規	1.2	0.9
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
フラワーパーク入園者数(人)				—	96
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	360,000	460,000	480,000		540,000
実績値	484,356				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
観光交流客数(千人/年)				Ⅲ-2(2)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,400		23,700	
実績値	★				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.96】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理した。
- ・浜名湖花フェスタ2016などのイベントを通して、魅力ある花と緑の空間を演出した。
- ・来園者が安心して施設を利用できるよう、老朽化した施設の改修を随時実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

将来的な安定集客を図るため、「虹のフジのトンネル」等の整備を行うとともに、50万球のチューリップ展示や桜の充実などを行い、魅力ある花と緑の空間演出を行うことで、目標を大きく上回る48万人の来園者で賑わった。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・来園者の利便性向上のため、エレベータの新設を行った。
- ・平成27年度で満了する指定管理期間の更新にあたり、公募による指定管理者の選定を行い、今後5年間の指定管理者を決定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽化した施設の改修等を計画的に行う。
- ・平成32年に迎える開園50周年に向け、財団と調整を図りながら必要な準備を行う。
- ・変動料金制を採用していることから、新たな魅力となるフジの生育状況等に合わせ、入園料の見直しに向けた検討を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000 02

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
96	浜名湖花フェスタの開催 3/1～6/15	浜名湖花フェスタの開催 3/1～6/15		
96	虹のトンネル整備 ・施設整備は27年度実施 ・フジの生育により見ごろには概ね3年程度必要となる	虹のトンネル整備 ・フジの生育により見ごろには概ね3年程度必要となる		

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000 02

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇取組概要

花と緑をテーマとした観光拠点として、将来的な安定集客を目指し、来園者に対しておもてなしの空間を演出するとともに園の魅力向上に努めるなど、将来まで持続可能な施設運営を図る浜松市花みどり振興財団の取組みを支援する。

◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 4001-12

取組事項名 (公財)浜松市花みどり振興財団の経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 緑化推進事業

◇事業目的・事業対象

風致地区及び緑地協定区域における生垣用苗木や樹木の交付を行うとともに、民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

◇事業の概要

- ・風致地区内住宅生垣用苗木、緑地協定区域樹木等の交付を行う。
- ・豊岡苗圃を樹木や苗木のストックヤードとして管理し、交付制度用の樹木など緑化資材を安定的に供給する。
- ・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S51	-	一般会計	自治事務	緑の保全及び育成条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	6,996	6,430
	決算	5,441	
	国・県支出		
	市債		
	その他	908	888
	一般財源	4,533	5,542
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		13,380	9,500
人工	正規	1.5	1.1
	再任用(h31)	0.8	0.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
樹木交付本数(本)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,200		2,200		2,200
実績値	1,258				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・風致地区内住宅生垣用苗木、緑地協定区域樹木等の交付を行う。
- ・豊岡苗圃を樹木や苗木のストックヤードとして管理し、交付制度用の樹木など緑化資材を安定的に供給する。
- ・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民との協働で進める「花とみどりのまちづくり」において、緑化に関心を持っている市民だけでなく、今まで関心を持たなかった市民に対して積極的に助成を行う制度があることで、自らが緑化に取り組もうとする契機として推進を後押しする啓発の意味を持ち、有効な取組みとして広く活用されている。
- ・住宅用樹木の申請件数及び申請本数の減少、記念樹(誕生、結婚)の交付期間終了により、交付樹木本数が減少した。制度の周知を図るほか、新たな交付対象を検討する必要がある。
- ・生垣用樹木交付 856本 ・緑地協定用樹木交付 204本 ・誕生・結婚記念樹 198本
- ・事業所等緑化協議 114件

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・風致地区における住宅の新築増築に対し、必要な緑化樹木を交付した。
- ・工場立地法準則の制定と合わせ、事業所緑化要綱の見直しを検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・豊岡苗圃で実施していた樹木交付の機能を緑化推進センターへ移管し、豊岡苗圃は平成28年度末をもって閉鎖・解体する。
- ・事業所等敷地内緑化指導については、工場立地法準則と合わせ、要綱を見直し、緑地率の規制を緩和する。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 花と緑のまち・浜松推進事業

◇事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて「花と緑のまち」を普及することにより、花と緑を楽しむ市民を増加させる。

◇事業の概要

- ・「花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイクカルチャーに関連した市民制作講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31		一般会計	自治事務		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	67,660	73,972
	決算	65,019	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	65,019	73,972
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		30,800	25,900
人工	正規	4.4	3.7
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
花づくりに関連するボランティア参加者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	11,000	12,000	14,000	15,000	20,000
実績値	11,575				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業展示花壇設置数(対象箇所に対する企業展示割合)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	35	40	50	50	50
実績値	36				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

「花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援した。
「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催した。
オープンガーデンなどの市民活動を支援した。
地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進した。
市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行った。
JR浜松駅前のモザイカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイカルチャーに関連した市民制作講座を開催した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

「花と緑の祭」や「花と緑のコンクール」の開催、浜松駅前等拠点花壇整備、モザイカルチャーによるシンボル装飾などを通じて、花と緑にふれあう機会の創出を図ることにより、市民の花と緑への造詣を深めることができている。
また、各種の支援を行うことにより、花の会や市民団体、企業展示花壇等を通じて、市民協働による「花と緑のまち」が推進されており、花と緑に関するボランティア数も順調に増加し、目標値の11,000人を超える11,575人の参加を数えた。
企業展示花壇については、要綱を見直し、企業に協力依頼を行ったことから、ここ数年の5か所から17か所に増加した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市民協働による「花と緑のまち」の推進に向け、企業展示花壇の協力箇所を5から17か所に拡大し、拠点花壇整備費を削減した。
・借地の解消及び事業費削減のため、花苗の生産拠点であったガーデンセンターを廃止し、苗交付に切り替えた。
・花と緑の祭は、駐車場整理など一部業務を職員から外部委託に切り替え、応援職員の削減を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているため、申請に対し6割くらいの交付しかできない。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を含めて、要綱の見直しを行う。
・まちなかにある拠点花壇のエリアを再検討し、事業の効率化を図る。
・企業展示花壇の協力企業をさらに増加させる。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 緑地保全事業

◇事業目的・事業対象

特別緑地保全地区や市民の森、保存樹木・保存樹林を指定するとともに、協働により適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。

◇事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)に対し維持管理として報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹木のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者に対し、維持管費として報償金を交付する。
- ・市民の森(高林住吉)では、市民協働による維持管理を行うための保全方針を作成するとともに、その他の市民の森に対して市民活動を啓発させるためのPRを行う。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52		一般会計	自治事務	都市計画法,静岡県立自然公園条例,緑の保全及び育成条例	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	27,936	28,674
	決算	25,751	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	25,751	28,674
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		23,920	30,600
人工	正規	2.8	3.6
	再任用(h31)	1.2	1.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
保全が担保される緑地の面積(ha)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8	19.2	40		240
実績値	8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)に対し維持管理として報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹木のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者に対し、維持管費として報償金を交付する。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や県立自然公園などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

環境の基盤・骨格を形成する緑地については、緑地の存続、永続性の担保を図るため、平成27年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地の見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の方針(案)の道筋を示した。

優先地区 Aランク地区(富塚小藪 11.7ha、高林住吉 8.3ha、富塚西小周辺 11.2ha、幸住吉 1.6ha、富塚東 3.7ha、和合・富塚 3.0ha、富塚北 1.1ha、遠州山野辺の道 191.8ha)

〈緑地指定状況:H27年度末〉

景観重要樹木 1本、保存樹木 58本、保存樹林 75箇所41.9ha、市民の森 35.7ha、特別緑地保全地区 6.7ha

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状

小項目

収集・分析

/

事業費

現状

人工

現状

- ・市民の森や保存樹林・保存樹木の地権者に対し、維持管理費用を交付した。
- ・地域緑地見直し計画に基づき、計画的に緑地保全や保存樹木樹林の指定や風致地区の見直しを検討した。

今後の方向性

大項目 改善

小項目

協働・助成

/

収集・分析

事業費

拡大

人工

拡大

- ・緑地の維持管理は、地権者の負担が大きくなっており、交付する費用だけでは対応しきれない。
- ・今後は、地権者だけに任せるのではなく、地域住民などが協働で維持管理できるしくみを構築し、自主的な活動を定着化させる。
- ・平成28年度は高林住吉地区を先行モデルとして保全方針の作成するなど、協働の取り組みを推進する。
- ・ナラ枯れによる被害の深刻化しているため、被害状況の把握と対応について検討する。

・事業の分類

大分類

事業推進

細分類

保護・保全

事業シート (事業名) 市街化区域内農地緑化保全事業

◇事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園(いきいき菜園)の開設を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

◇事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として開設し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭のできる野菜栽培講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	7,033	7,100
	決算	6,190	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1,852	1,848
	一般財源	4,338	5,252
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		5,600	5,600
人工	正規	0.8	0.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市街化区域内の農地に対する生産緑地と市民農園の割合(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	7	10		30
実績値	5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として開設し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ＜特定市民農園の設置＞市街化区域内の中学校区に概ね1箇所 計25箇所を目標として開設する。
- ・H20 4箇所(楊子 篠原 三ヶ日 文丘) 70区画 4,672㎡
 - ・H21 4箇所(入野 小豆餅 染地台 鴨江)52区画 4,081㎡
 - ・H22 3箇所(北島、楊子第二、横須賀)40区画 3,244㎡
 - ・H23 北島の区画増設 15区画 総計177区画 11,997㎡
 - ・H26 北島の区画増設 1区画 総計178区画 11,997㎡
- ＜菜園栽培講座＞19回開催

＜生産緑地の指定状況＞ 140箇所 17.6ha

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民農園(いきいき菜園)を利用者に開放するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
- ・生産緑地として指定した農地が適正に営農されているか確認した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市街化区域内農地は既に宅地並みの課税水準に達している。開設11箇所については、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでおり、市民農園以外の目的へ転用される恐れがないことから、所期の目的は達成されていると認められるため、今後は市民農園を積極的に拡大しない方向で検討する。
- ・立地適正化計画の進捗と合わせて、生産緑地の指定基準の見直しを検討する。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 都市計画公園見直し事業

◇事業目的・事業対象

人口減少の将来を見据えて、長期未着手の都市計画公園区域を見直し、都市計画法上の規制を取り除く。

◇事業の概要

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進める。
- ・都市計画の変更に向けた地元説明会を開催する。

【参考】

H23: 都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。
 H24: 市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。
 H25: 「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。
 H26: 方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務	都市計画法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	4,130	9,430
	決算	3,132	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	3,132	9,430
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		5,600	5,600
人工	正規	0.8	0.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
都市計画公園等の変更(減少)面積(ha)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	26	11	142		156
実績値	27				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進める。
- ・都市計画の変更に向けた地元説明会を開催する。

【参考】

H23:都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。
H24:市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。
H25:「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。
H26:方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・平成26年度「浜松市都市計画公園の見直し計画」を策定・公表。都市計画変更の第1期分として、同じく都市計画変更を検討している都市計画道路に接する都市計画公園12箇所の都市計画変更手続きに着手。(地元説明会9回)
- ・平成27年度は、都市計画公園8箇所、都市計画緑地1箇所の都市計画変更手続きを完了。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成27年度は、同じく都市計画変更を進める都市計画道路に接する公園緑地9施設を見直した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後も「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、住民説明会や都市計画原案の縦覧、公聴会等において、市民や土地所有者との合意形成を図り、概ね平成30年度までに都市計画変更手続きを進める。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 花と緑の基金積立金

◇事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

◇事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,025	1,000
	決算	274	
	国・県支出		
	市債		
	その他	274	1,000
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
花と緑の基金に寄せられた寄附金(千円)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,000	1,000	1,000		1,000
実績値	250				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基金を適正に管理した。
- ・平成27年度末残高＝287,542,808円

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・継続して基金を適正に管理する。
- ・宅地開発など貴重な緑が破壊されようとした場合、本基金が活用して緑地を保全できるしくみを検討する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 緑化推進運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	6,230	6,453
	決算	4,988	
	国・県支出		
	市債		
	その他		2
	一般財源	4,988	6,451
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		31,500	35,000
人工	正規	4.5	4.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 03 08 01 02155000

(担当課)
緑政課

(責任者)
加茂 雅雄

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類